

中 Yokoso Obara Linkai
山里暮らしのあれこれ

Take Free [0円]

おはらのじかん

第33号

2025 Spring

巻頭
特集

小原地区に新たな観光資源？

おばらのお城

今、山城が熱い？

[市場城跡発掘調査]

[行ってみよう!小原の市場城跡]

[マンガイカくんキンちゃんの小原日記]

[小原いろいろ情報]



小原人集まれ!
「ようこそおばら委員会」

小原人
以外でもOK

おばらの お城



愛知県の中でも
これほどまとまって
中世の城跡が残っている
地域もまれだそうです。
実際に行ってみることで
戦国時代のロマンを
体感してみませんか？



山城の楽しみ方

小原には12、あるいは不確かなものを含めると14の山城があります。
「山城」とは、戦国期を含む中世の、主に戦国時代に防衛拠点として築かれた「土の城」をいい、江戸時代に築かれた瓦や石垣を持つ支配拠点の城「近世城郭」とは分けられます。
小原の市場城跡は、最近豊田市により発掘調査が開始されました。小原在住で東海古城研究会の後藤正さんに話を聞いてみました。



後藤さんと城との出会いについてお聞きします。

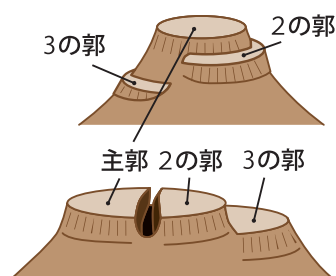
奥三河の海拔600mほどの高地の設楽町名倉で育ちました。近くに郷土史の草分けみたいな人がいて、十代の頃興味を持って遊びに行くと「お前の家の近くに城があるぞ」と教えられました。やがて郷里を離れたましたが、城には興味を持ち、一人で訪ねていました。その後、いくつかの歴史の会に入ったり、仲間と山城めぐりをしたりしていましたが、本格的な調査研究は25年ほど前に東海古城研究会に入ってからです。



山城の遺構と言われても慣れないとわかりにくいものです。見方を教えてください。

「山城」は山の尾根上に削平地【郭】をいくつも造る、その組み合わせが基本です。
主郭、2の郭、3の郭と呼びます。郭の側面は登れないように削って急峻にします【切岸】。切岸の下には横堀を掘ります【空堀】。余った土は堀に沿って盛り上げます【土塁】。山城は切岸・空堀・土塁が必ずセットになっているものです。山城の3点セットですね。

【山城の組合せ一例】

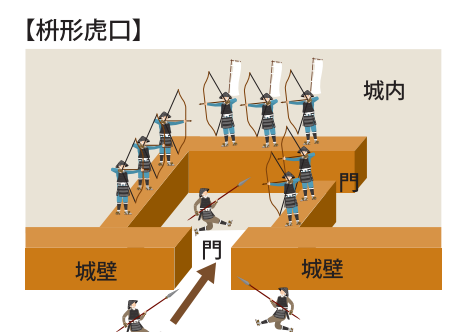
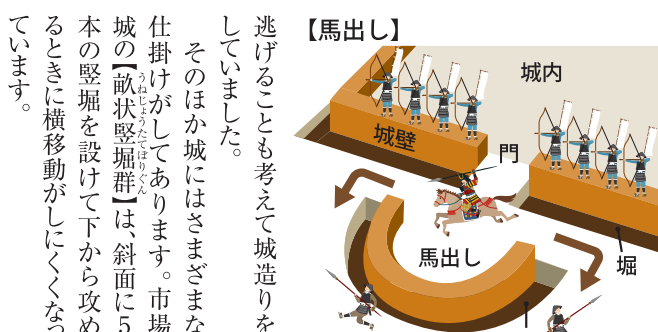


ちょっと聞き慣れない言葉も出てきましたが、山城の楽しみ方も教えてください。

まず足を運ぶことです。低登山です。山から登山靴とか水筒とか装備して出かけることは大事です。それと、山城に詳しい人と一緒にいくことです。でも、専門的な会に入るのが一番の近を勉強したくなります。



郭と郭を繋ぐのは【虎口】です。出入口ですから固く守ればいいというものではありません。こちらから出撃しやすいことも大事です。相矛盾した部分であり城の一番弱い部分であるわけです。それでクランクにした【枡形虎口】といって、敵が立ち止まるよう空間を設けたり、のちには【馬出し】といって、左右から出撃できるように工夫を凝らしたりしています。
また、城には【大手道】＝玄関と【搦手道】＝裏口が必ずあります。複数ある場合もあります。搦手道はいざという時の逃げ道でもあります。昔の人は



◆◆◆小原地区にある城館跡◆◆◆





小原周辺でお薦めの城はありますか？

市場城、仁木城、大平城など小原の城はもちろんです。小渡城、明知城はお勧めです。市場城と同じ畝状堅堀群があるので類似性を感じられると思います。昔から小原とは矢作川を介して物流の行き来、経済的な繋がりがあったので、軍事的にも人との交流が盛んだったと思われる。文献的にも結びつきは確認できます。最近人気の大給城、松平氏発祥地の松平城も訪ねたい城です。



山城を見に行くときのマナーはありますか？

山城は誰かの土地、私有地が多いですから「おじゃまします」という気持ちが大切です。何かを捨てたり、置いてきたりしないことです。そして考古学的な遺跡の上に立っているという意識を強く持つことです。そういう意味で桜を植えたり、むやみに道を作ったり、現状変更しないことです。桜は城外に植えてほしいですね。城跡から見下ろす桜の景色があつてもいいと思います。

最後に「城は寺」だと思っています。寺がしばしば軍事的な城として使われたという意味だけでなく、山城を訪れると山の神などの信仰施設



M.M

に出会うことがあり、人々と地域を護る精神的存在として城はあつたと考えられます。

市場城跡発掘調査

令和6年10月7日(月)から数日間にわたり、市場城跡の謎を解き明かす「市場城跡発掘調査」が実施されました。市場城跡は、西三河地区最大級の山城の二つであり、石垣や畝状堅堀群(うねじょうたてぼりぐん)が特徴的です。しかし、城跡に建物が存在していたかどうかは不明であり、今回の調査はその確認を主な目的として行われました。調査について、市文化財課の学芸員さんや本城小学校区発展会の方々にお話を伺いました。



調査のきっかけ

この調査のきっかけは、意外なところから始まりました。約2年前、本城小学校区発展会の「地域魅力づくり班」では、地域の魅力を発信するために何ができるか話し合いました。その結果、最も多く挙がったのが「市場城跡」でした。現在は人工林に覆われていますが、かつては市場城の石垣が下の道路からも見えたそうです。「その景観を復活させたい」という思いから、市場城跡の整備について市役所へ相談を始めた。



そんな中、2023年3月11日、豊田市美術館で城郭考古学者の千田嘉博教授による「城から考える徳川家康」という歴史講演会が開催されました。その中で市場城跡の話題が取り上げられ、豊田市内の城跡調査や整備があまり進んでいない現状が指摘されました。講演を聴いていたツーリズムとよた会長でもある、太田稔彦豊田市長は、その場で市場城跡の調査を約束。この出来事と地域の動きが相まって、今回発掘調査へとつながったようです。



調査の進行と地域の参加



今回の取材は調査終盤に行われました。調査は本城小学校区発展会や地元有志を中心に進められ、多くの地域住民が関わりました。また、地元の中学生や小学生も参加し、貴重な学びの場となりました。学芸員によると、発掘調査は全国各地で行われていますが、素人でも作業を続けるうちに上達していくとのこと。今回、発掘作業をメインで行っていた本城小学校区発展会の方々も、取材時には手慣れた手つき



発掘調査の課題と発見

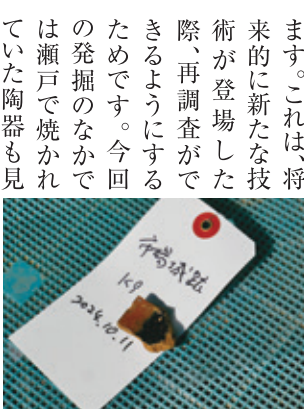
発掘を進めていました。参加者の二人は、「1日しかやってない時はわからなかったが、やっていると土の違いや手触りが違うのわかるようになってくる」と語り、別の参加者は「初めはたくさん穴掘りばかり大変だった。でも疲れるけど楽しいよ。」と話していました。近年は大規模な発掘調査が減っているため、今回の調査は貴重な機会となりました。市場城跡の発掘作業では表土剥ぎから始まり、ひと月くらいで完了しました。

発掘調査では、場所によって異なる課題があります。例えば、町中での発掘では、掘り出した土の置き場の確保が問題になります。一方、市場城跡は広い敷地があるため、その点では作業しやすい環境でした。今回の調査で新たに発見されたのは、3つ並んだ穴のような遺構です。正式な分析はまだですが、もしこれが堀の跡であれば、市場城は堀に囲まれた防御的な構造を持つ城であった可能性が高まります。また、多くの石が出土した地点も気になっているそうです。江戸時代の絵図「諸国古城之図市場(三河加茂)」には、市場城に石堀のようなものが描かれています。この石が、かつて堀に使われ、後に崩れて昭和の時代に畑の邪魔になってまといふ仮説も考えられます。



発掘調査に必要な想像力と知識

発掘調査はただ掘るだけではなく、想像力が不可欠です。例えば、建物の跡地では、柱が埋まっていた部分の土の色が変わります。半分だけ掘ることで、



柱穴の形状や埋まった経緯を確認できます。柱を立てる際、一回り大きく掘り、その後柱を埋めます。時間が経ち、柱が抜かれると中心部に異なる土が入るため、その直径を測ることで柱の存在が証明されます。市場城跡では、発掘後に建物を建てる予定はないため、半分発掘して半分埋め戻す方法が採られます。



山跡の発見方法
山なので城跡に気がつかない気がして、山城の跡の発見方法を聞いてみると、地元の言い伝えや城跡で特徴的な、平坦な場所と急斜面の組み合わせなど、遺構の配置などでわかります。また、地元に完全に忘れられていた城跡が、発掘によって発見されることもあるそうです。



市場城跡の今後

今回の調査では、柱穴と思われる遺構が見つかりました。また、今後の市場城跡の整備についても、地域住民と協力して進めていく必要があります。遺構を保護するためには、木の根が適さないことから、整備の方向性も重要な課題となります。市場城跡の魅力をどう伝えていくか？これからの本城学区発展会の取り組みが鍵となります。今後の市場城跡の魅力づくりが楽しみです。

T.S
M.I

行ってみよう！小原の市場城跡



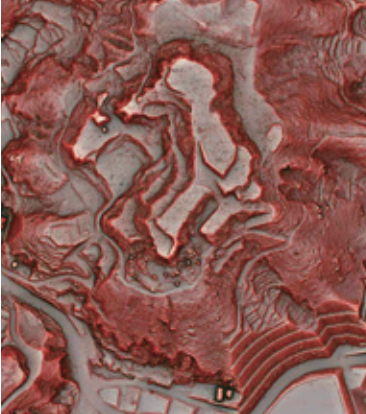
愛知県西加茂郡小原村教育委員会
小原村文化財保護委員会
作図：千田嘉博／1993.3

平成4年度愛知県地方振興補助事業

「愛知県で人気の城、城跡」ランキンク（ねとらぼリサーチ）トップ10に入るほどの山城です。『小原の城郭』と、令和5年度の市場城の事前調査で作成された赤色立体地図を片手に訪れると、より楽しめると思います。

赤色立体地図とは、

1993年に発行された小原村の冊子『小原の城郭』には、11か所もの城館跡が紹介されています。驚くべきことに、その中の山城の縄張り図（城の作図）は、若き日の城郭考古学者千田嘉博さんによつて描かれました。話によると、当時、たまたま小原の山城を訪れていた若き千田さんに、地元の人が声をかけたことがきっかけで、この冊子の縄張り図を作成することになったそうです。また、当時千田さんは、本紙の特集に登場した大平の後藤さんも所属していた「東海古城研究会」にも所属していたといひます。



豊田市Webより
小原の城郭PDF
赤色立体地図PDF

また、市場城跡には「枅形」の遺構がしつかりと残っており、かつて門があった場所や、横から矢を射かけるための防御施設の構造も想像することができまふ。さらに、近くの西運寺には、市場城の城門が1693年に移築されたと伝わる山門があり（諸説有）、ぜひ帰りに立ち寄りたいスポットです。戦国時代に思いを馳せながら、山城歩きを楽しんでみてはいかがでしょう？

T.S

り家康が小原へ来ていたようです。市場城も家康の資金が投入され大規模な改修が行われたのではないかと、という話もあるようです。

市場城の見どころのひとつは、戦国時代の山城としては珍しい石垣です。自然石を利用した野面積みという積み方もその時代を感じさせます。さらに、「畝状堅堀群」も注目ポイントです。これは、空堀（水のない堀）が縦に何本も並んだ構造で、滋賀県では多く見られるようですが、愛知県では珍しいものとのこと。敵が一列に並ぶことで、一網打尽となるそうです。



◆小原いろいろ情報

「5月25日（日）」
小原歌舞伎50周年記念
「五月公演」



小原ならではの地歌舞伎を無料で楽しめます。（おひねり歓迎）
会場 小原交流館ザ・小原座

「6月14日（土）」
踊る舞！おいでん小原
With おばらマルシェ



おいでんまつりの地区予選兼
プレイベントと地元小原の野菜やグルメクラフトショップなどのマルシェを共同開催
会場 豊田市 緑の公園
詳しくは小原商工会まで

おばら地区の物件を探すなら！

豊田市 空き家バンク

検索

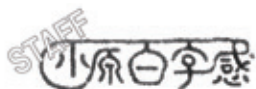
www.city.toyota.aichi.jp/akiya/



ようこそおばら
委員会の公式
SNSに登録して
ください。

facebook

Instagram



編集後記

小原にもたくさん山の山城などがあります。それは徳川家や武田家に挟まれた土地だった歴史。山城自体も知識がないとただの山にしかみえません。少し勉強するだけで面白さが倍増するのも山城の魅力のひとつだと思います。 T.S（今回編集長）

後藤さんとの話は、他にもヨーロッパと城と日本の城の違いだったり、刀の話など、城からたくさん世界に広がった。私たちの祖先が築いてきた文化や営みの断片が、今も見て感じるできるので。想像することと知識を使って先人たちに会うことは、とっても楽しいことだと気づきました。 M.M

最初、ただの山や原っぱにしか見えなかった場所が専門家のお話を聞いていくうちに見方が変わっていきました。身近な場所にあるので子どもと一緒に散策し小原の魅力を増やして行きたいです。 M.I

取材委員大募集～！

ようこそおばら委員会では取材にわっていただける方を募集しております。年1～2回程度の取材でレクチャーもします。気軽にお問い合わせください。

発行：2025年3月【ようこそおばら委員会事務局 豊田市役所 小原支所】

〒470-0592 愛知県豊田市小原町上平441-1 Tel 0565-65-2001 Fax 0565-65-3695

E-mail: obara-shisho@city.toyota.aichi.jp 今後、本誌の郵便（無料）を希望される方はご連絡ください。



ようこそ
おばら委員会